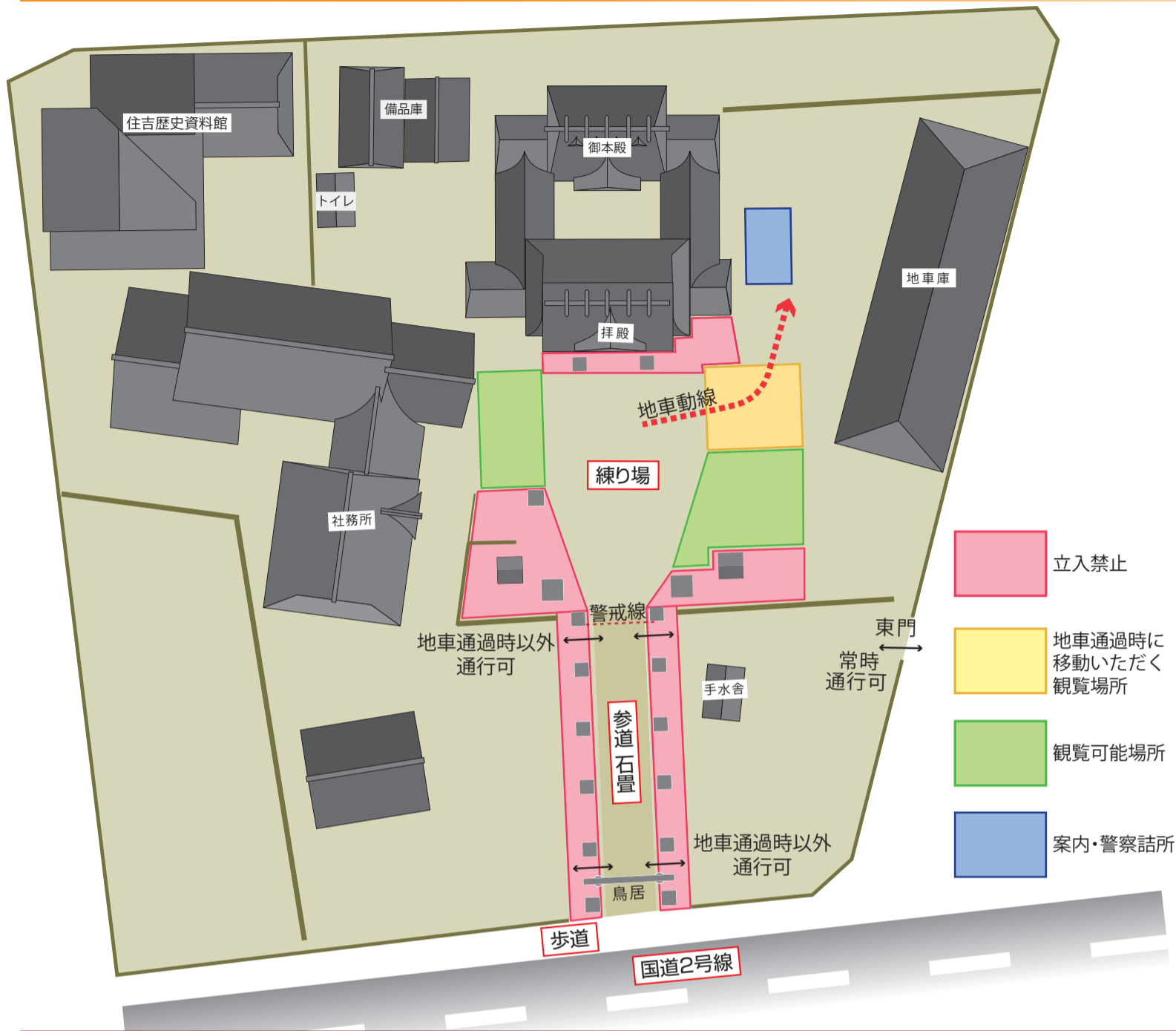


宮入時境内規制図



本住吉神社
御参詣の皆様へ

ご観覧に関する注意事項

- 場内、参道においては、住吉地車振興会指揮者や警備にあたる祭礼関係者の指示に必ず従い、安全なご観覧をお願いします。
- 場内、参道の安全確保が出来るまで地車の入場は行われません。指揮者の指示に従っていただけない場合、宮入神事が中断されることがあります。
- 幼児、お子様のご観覧は、必ず保護者同伴にて行い、雑踏での危険性をご理解していただき安全を確保の上御覧ください。特に最前列は規制線の確保にロープ、柵などが使用されますので、後方から押されて挟まれる可能性がありますので十分にご注意下さい。
- 境内正面の拝殿前（狛犬の内側）には住吉総指揮者以外は入れません。これは、拝殿正面に神様が御鎮座されており、そこに地車が参拝して神事を行うためです。各地区祭礼関係者でも拝殿前には入らないで下さい。
- ご観覧の際に、石垣、燈籠（とうろう）、欄干などの神社設備に上がるなどの行為は禁止いたします。
- 宮入時に、境内練り場内に一般の観覧者の方が入る事は出来ません。鳥居前や規制線上にてトラブルのないようお願いいたします。
- 宮入開始時に、参道石畳上に祭礼関係者以外の方がおられますと、宮入が始められません。露天商前も立入禁止になりますのでご注意ください。
- 神社前の国道2号線に面した歩道は大変狭くなっております。立ち止まってご観覧いただくと通行の妨げになりますのでおやめ下さい。
- これらの注意事項を守っていただけない場合、神社内よりご退場頂く場合がございます。ルールを守ってのご観覧よろしくお願い致します。

安全と警備計画について

だんじりの巡行に関しましては、住吉地車振興会を始め、各地区の責任者や世話人たちが万全の注意をはらっておりますが、ご観覧の皆様もだんじりが動いている時に近づいたり、飛び出したりしないようご協力をお願いいたします。また、5日本宮の宮入では、年々ご観覧の皆様が増えており、神社内では事故防止と安全確保のため、住吉地車振興会指揮者や今年度から設置しました警備担当者、ならびに制服警備員を70名以上配置しております。だんじり練り回し時に見物客が押し合いますと、だんじりに巻き込まれたり雑踏事故につながり大変危険ですので、祭礼関係者や警備員の注意に従いお楽しみ下さい。皆様もご存知の通り、12年前の明石市での花火大会の重大事故以来、警察側の規制も大変厳しくなっており、ご観覧の皆様の危険な行動により、万が一大きな事故が発生した場合、今後祭礼の開催が出来なくなる可能性もあります。住吉地車振興会ははじめ祭礼関係者も最善の注意を払い事故防止に努めますが、どうかご観覧の皆様も、楽しい祭礼が続けられるようご協力をお願いします。

来場に際してのお願い

本住吉神社には、駐車場・駐輪場はございません。ご来場の際は、徒歩、公共交通機関をご利用にてご来場ください。神社周辺の歩道は多くの来場者で混雑しており、自転車、単車などを駐輪されると歩行者の妨げになり、近年それらが原因で発生する事故が多く見られます。祭礼当日は、祭礼運営の妨げになる車両を発見した場合、公的機関に、撤去、取締の依頼をする場合がございますので、ご来場いただく際には注意事項をお守りの上お楽しみ下さい。